

第1学年 生活科学習指導路案

教科等	生活科	単元名	もうすぐ2ねんせい	本時	全17時間扱いの4時間目
学級	1年5組	授業者		教室等	2階 1年5組教室

<本時の指導>

<本時のねらい> 新1年生に喜んでもらいたいという気持ちを持ち、楽しい交流会について考えることができる。	
	<p>主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C</p> <p>○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p>
<p>1. 前時で決まったことを振り返る。【発見】 T:前の時間に、各グループで話し合い、自分たちが交流会で何をやるか、決めましたね。 C:私たちは、朝の支度について、説明します。 C:ぼくたちは、給食のことを教えます。</p>	<p>□前時の振り返りをして内容を板書することで、自分たちのグループの活動を再確認させる。※可視化</p>
<p>2. 話し合いのめあてを確認する。【決定】 T:自分たちのグループで、どんなことをしたら、新しい1年生が喜んでくれるかを考えましょう。 C:優しく教えてあげたい。 C:学校の様子がよく分かるようにしてあげたい。</p>	<p>□活動全体を見通したためあてをもつことで、意欲的に活動できるようにする。</p> <p>○話題設定の工夫 1年前の自分を思い起こし、「こんなことをしてもらえてうれしかった」「こんなことを知って、不安がなくなった」といった経験を生かせるように話題を設定する。</p>
<p>3. 記録カードに沿って、話し合いを進める。【対話】 T:交流会でやることを、詳しく決めていきましょう。こちらの話型を意識して使いながら、話し合ってみましょう。</p>	<p>○意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定 児童の意欲が持続し、話し合いでも考えを広げられるように、同じ活動のグループで話し合う。</p>
<p>4. 交流会について、グループで決まったことを発表する。【対話】 T:それぞれのグループで決まったことを発表しましょう。 C:私たちのグループは、クイズを出して、伝えることにしました。 C:ぼくたちは、朝の支度の様子を、ランドセルを置いて見せながら説明することにしました。 C:みんなから、アンケートをとって、好きな給食を紹介します。</p>	<p>○交流の目的と視点の明確化 「話し合いは、新しい1年生が楽しめる交流会にするため」という目的と、「新しい1年生が安心して参加できるか」「みんなで協力して活動を進めることができるか」という視点を与える。※焦点化</p> <p>○話し合いの話型の提示 「ともだちのかんがえをうけとめよう」と「ぜんいんがはなせるようにしよう」を提示する</p>
<p>5. 授業の振り返りをするともに、次時に交流会のための準備を始めることを確認し、見直しをもつ。</p>	<p>☆新しい1年生に喜んでもらいたいという思いを持ち、学校生活について分かりやすく伝えようとしている。(記録カード、観察)</p> <p>□次時へのイメージを具体的にもてるようにする。</p>

【板書計画】

もうすぐ 2年生

たのしいこうりゅうかいになるように、はなしあおう

ぜんいんが
はなせるようにしよう

よんごうかんとく
よんごうかんとく
よんごうかんとく

ともだちのかんがえを
うけとめよう

うんげん
うんげん
うんげん

あさのしたく→ ランドセルにおいて、せつめいする。
きゅうしょく→ にんきのこんだてランキンク
かん字 → かん字クイズ
さんすう → けいさんのしかた
にこにこえん→ しゃしんをとって見せる
たいいくの学しゅう→なわとびをおしえる。

【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

来年度の1年生と交流することや自分たちがお兄さん、お姉さんとして活動できる内容であることを確認させた上で、「たのしい交流会になるように、話し合おう」という話題を設定する。1年前の自分の気持ちを思い起こしながら、今年長兄が同じような思いであることを想像し、年長兄に喜んでもらったり、不安感をなくしたりできるようにするには、交流会でどんなことをしたらよいかを考えさせる。

話し合いの話型の提示

話型「ともだちのかんがえをうけとめよう」と「ぜんいんがはなせるようにしよう」を使って、グループ全員が自分の考えを伝え合えるように前向きな交流を促す。

(2) 「学び合う」ための手立て

意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定

交流会で同じ内容を選んだ児童同士3〜4人でグルーピングし、交流会の内容について話し合う。児童の「こんなことをやりたい」という意欲が持続できるように配慮しながら、それぞれが役割をもって準備できるようにする。

交流の目的と視点の明確化

「新しい1年生が、より楽しめる交流会になるように」という目的と「相手が安心して参加できるか」「自分たちがみんなで協力して進めることができるか」という視点をもたせる。